

# アカテツ

か めい  
科名 アカテツ

がくめい  
学名 Pouteria obovata

べつ めい  
別名



く ぶん  
区分 木本類

ぶん ぶ  
分布 鹿児島(宝島以南)沖縄、小笠原、中国、  
台湾、熱帯アジア

は かたち  
葉の形 長楕円形

は ふち  
葉の縁 全縁

は さき  
葉の先 鈍形

は しゅるい たんよう  
葉の種類 単葉

は つきかた ごせい  
葉の付方 互生

は きぶ ぜんせんけい  
葉の基部 漸尖形

み しゅるい えきか  
実の種類 液果

はな がくいろ しろいろ  
花・萼色 白色

せいめい  
説明 海岸に面した平地などに生育し、高さ約10mに達する高木もあれば、低木になるものもあり、小枝や葉の裏面には赤い褐色または灰褐色の短い毛が生えます。葉は革質で長さ5-9 cmです。花は腋生で多数咲き径5-6 mmです。花の色はごく淡い灰白色ですが、まれにしか咲きません。実は黒色のような藍色に熟します。アカテツに似た植物でハマビワがありますが、アカテツの葉裏が光沢が有るのに対し、ハマビワは光沢が有りません。